

# みまもり新聞

白杵小学校防災部  
令和元年7月 発行

6/1(土)の親子避難訓練、引渡し訓練への参加ありがとうございました。  
また、保護者振り回りのアンケートにご協力いただきありがとうございます。  
今回のみまもり新聞ではアンケート結果を一部ですが、ご紹介します。  
\*複数学年に児童が在籍している場合、上の学年で集計しました。

## 1 重点項目(緊張感をもって素早く避難する)を守れたか。

- 話をすることなくスムーズにできた。守れた。(55人・全学年)
- 先生や放送の指示をよく聞き、素早く行動できた。【6.4.3年】
- まさかの時のためにいろいろ考えながら避難した。【5.3.1年】
- 子供を見習って静かに行動した。【4年】
- 緊張感をもって行動できた。【4.2年】
- 体調があまり良く無く走ることはできなかったが静かに移動できた。【5.3年】
- 真剣に取り組めた。【4名・6.4.3.年】
- しゃべる余裕は無いです。【6年】
- つつい目についたもの等でしゃべってしまった。【6.4.2年】
- 毎年参加して緊張感が緩んでしまったが、子どもたちを見て改めて防災意識を高めなければと感じた。【6年】
- 子どもと一緒に走るの体力的に厳しかった。【5.4.2年】
- 訓練ということで緊張感がだんだんなくなった。【6.1年】。
- 緊張感をもって本当に避難しているようにしないとイケない。【5.4年】
- はじめは私語が無かったが、信号などで詰まるとだんだん私語が聞こえた。【5年】
- 子どもは守れていたと思うが大人は私語が多かったり、緊張感があったとは言えないと思う。【5年】
- 運動不足を痛感させられた。日頃からの体力づくりが必要。【5.4年】
- 一年生は体力的に厳しかった。【1年】
- 緊張感が薄かった。【1年】



## 2 避難訓練を通して「よかったこと」「頑張っていたこと」

- 日ごろの訓練とは言われないくらい、子どもたちも保護者も一生懸命だった。【6年】
- 子どもが真剣な様子でよかった。逃げる時も黙って走っていた。【6名・6.5.4年】
- 子どもたちが一生懸命走っており、体力もあると感じた。【6.4年】
- 親がただただ走っていても、子どもはどんどん先に逃げていて日頃の訓練の成果だと感じた。【2名・6.5年】
- さいごまで逃げ切れた。(走れた)【8名・6.2年】
- 子どもたちが先生の話をよく聞けていた。【6.5.4年】
- 下の子を連れて高学年でのチェックは良かった。【6.4.1年】
- 目標の時間内に避難場所に行くことについて家族全員で頑張った。【6年】
- しゃべらないようにみんなで声掛けもしあっていた。
- きつくなっても一生懸命走って頑張っていた。保護者も途中止まる児童を励ましていた。【5.1年】
- 引き渡しのときも静かでした。【5年】
- 混雑した中でも走るときは走る、止まっているときは黙って止まる！を守っていてよかったです。【5年】
- 移動も脱落する児童がなくみんなよく頑張っていた。【3名・4年】
- 本当の地震、津波時は訓練通りにはいかないと思うが、今日のように落ち着いて走ってほしい【4年】
- 子供も頑張ってるから頑張ろうという気持ちになった。子供が手本だった。【4.1年】
- ☆これまでは見守りの立場でしたが、今回は避難する立場で参加することで今まで見えてこなかったことに気付かされた。【4年】
- 学年でよくまとまっていたと思う【3年】



## 3 「もっとこうしたらよい」「こうなってほしい」「感想」等

- 水分補給時以外は水を飲んでだめだと思いましたが、口喝に耐え切れず水を飲んでいました。【6.5年】
- 先生の行動も素早くよかったと思います。【6年】
- 引き渡しの方が前回よりもスムーズでよかったと思います。【全学年】
- 振り返りの時間は必要なことを端的にまとめてくださりありがたかった。【5年】
- 用事があり引き取りに行けなかったのですが、もし災害があったときには今回のようにみんなと一緒にのときに親の引き取りとは限らないので良かったかなと思います。【5年】
- ★坂を上るとき溝があり、危ないと思った。【6年】
- 話を聞くとき砂を触っている児童が多かった。【6年】
- 二次避難場所で保護者に再度私語をしないように伝えてほしい。(去年よりもよくなった印象はありますが)子どもたちの見本になってほしい。【6年】
- ★信号待ちをしていた時に走ってきたトラックに恐怖感を覚えた。警察に車に対する安全指導をしてもらいたい。訓練で事故があっても元も子もない。【4年】
- 「その場に座ってください。」が足の悪い私にはとても苦痛でした。【5年】
- 子どもは話をきちんと聞いていたのに、保護者の私語が多い。【5年】
- 親が隣にいと緊張感が切れるな、と感じた。【5年】
- 学校に先に保護者が戻ると子どもからぞうきんをもらえない。玄関に大きいぞうきんを置いてほしい。【4.3年】
- ☆外部より指導ができる方がいれば話を聞きたい。【5.3年】
- ☆大震災から年が経つにつれ当初の経緯を知らない人が増えているのではと感じています。白杵小統合移転問題が出た時の気持ちを思い出せるような取り組みができれば。難しいですが。【4年】
- 先に公園に上っている保護者の方もいらっしゃいましたが親子避難訓練はなかなかない機会なのでぜひ一緒にできるといいなと思いました。
- ★高学年は廊下に物を置きすぎていて、避難通路が確保できないように感じる。【6.5年】
- ★低学年クラス前の花壇の網が避難するときに邪魔だと感じた。【2年】  
→すぐに撤去しました。
- ★下の子を受け取りに行つて上のこのところに行くときは下の子もいったん担任の先生に「連れていくこと」を伝えた方がよい【6.4年】  
→確実な引き渡しのため、スムーズかつ、ダブルチェックが出来る体制に改善したいと思います。
- 公園に上がる坂道左(ゆっくり)右(走れる人)ができていなかった。(皆左側を歩いたり、走ったりしていた)【4年】
- ☆防災士の方は防災士ベストを着用して参加してくださると心強い。【4.2年】
- ★途中で怪我をしたときの為、養護の先生だけでなく、救急セットを持っている先生がいたほうがよい【3年】



今回のアンケートは、6年生→9名、5年生→18名、4年生→12名、3年生→17名、2年生→8名、1年生→20名、学年不明→4名、計88名の方にご協力いただきました。  
ありがとうございました。  
アンケートでいただいたご意見は今後の検討課題にし、話し合いを続け子供たちのより良い環境づくりをしていきたいと思っています。

次回の防災部イベントは 10月26日(土)の防災スタンプラリーです。  
またの参加をお待ちしています。